

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

耳鼻咽喉科事業（ENTBU）戦略

2016年3月30日
オリンパス株式会社
耳鼻科事業ユニット
副ユニット長
鷺塚 信彦

16CSP

1. 事業概要のご紹介

2. 現状認識

3. 市場動向

4. 事業戦略

5. 目標・指標

1. 事業概要のご紹介

2. 現状認識

3. 市場動向

4. 事業戦略

5. 目標・指標

全社におけるENT事業の位置づけ

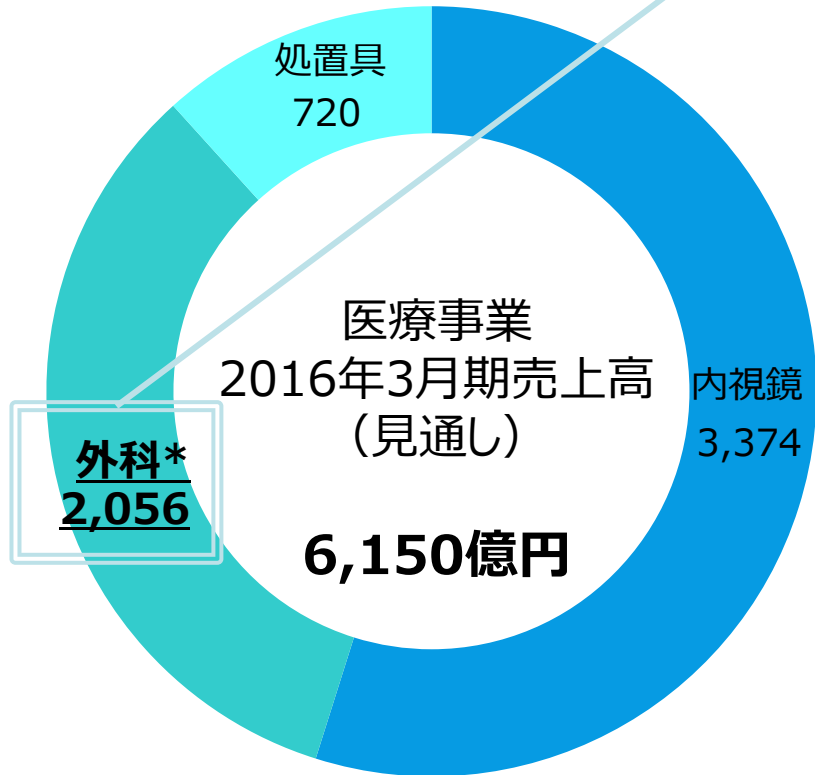
高い成長ポテンシャルを持ち、自社コンピタンスを活用した持続的事業拡大が可能

消化器内視鏡事業、外科事業で培った技術を活用し、参入事業領域の拡大を図る

今後、製品開発および販売網の強化に積極的に投資し、収益力拡大を図る

売上高構成と位置づけ

2016年3月期売上高（見通し）



(*)耳鼻咽喉科事業ユニット（ENTBU）は、外科売上高2,056億円に含まれます

耳鼻咽喉科事業ユニット（ENTBU）*

咽喉科分野



軟性内視鏡

耳科分野



鼓膜チューブ



耳小骨インプラント

鼻科分野



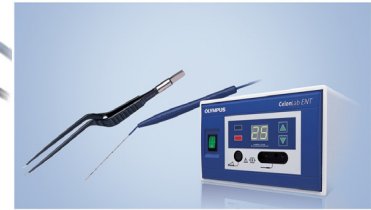
硬性鏡



カメラヘッド



デブリッター



高周波焼灼装置

耳鼻咽喉科で使用される主要製品群を保有

主要製品

軟性内視鏡
例：ENF-VH



対象疾患・用途

用途：咽頭、喉頭領域の診断・治療

- 経鼻的に軟性内視鏡を挿入し、咽喉頭領域を診断。悪性腫瘍などは、NBIを用いて診断
- 喉頭領域では、声帯の動きやポリープの有無等を、ストロボ光を用いて診断する。また、内視鏡のチャンネルを介してレーザープローブや鉗子を挿入し、ポリープ切除、腫瘍焼灼等を実施

特長

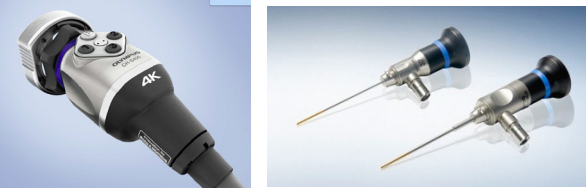
- NBI*を用いることで、中・下咽頭がん、喉頭がんの早期発見に貢献
(NBI*：Narrow Band Imaging/狭帯域光観察)
- 経鼻的な軟性ビデオ内視鏡によるストロボ診断は、経口的硬性鏡診断に比べ、患者の苦痛も少なく、自然な姿勢での診断を実現

主要製品

対象疾患・用途

特長

4Kカメラヘッド・硬性鏡



用途：内視鏡下副鼻腔手術(ESS*)

ESS* : Endoscopic Sinus Surgery

- 閉塞した副鼻腔開口部を、内視鏡観察下に、ディエゴエリートで開放し、腔内に溜まった膿の除去を行う商品群

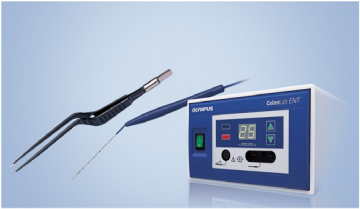
- 4Kカメラシステムによる高精細で広色域な内視鏡画像


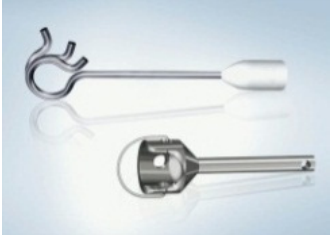
- ディエゴエリートは、『詰まり除去』、『高周波止血』などの独自機能により、手術効率の向上、手術時間短縮を実現。他社類似製品との差別化を実現

デブリッダー

(当社製品名：ディエゴ エリート)



主要製品	対象疾患・用途	特長
<p>高周波焼灼装置</p>  A high-frequency electrocautery device with a control panel and a handpiece. The control panel has a digital display showing '28' and various buttons. The handpiece is blue and silver.	<p>用途 : いびき、睡眠時無呼吸症候群</p> <ul style="list-style-type: none">■ 手術用途に応じて、病変部に穿刺して焼灼したり、病変部切除を行う	<ul style="list-style-type: none">■ 手術目的部位、手段に応じた各種プローブ類のラインアップ

主要製品	対象疾患・用途	特長
<p>鼓膜チューブ</p> 	<p>用途：中耳炎の手術</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 鼓膜を切開し、鼓膜チューブを留置し中耳内に溜まった膿を排出させる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 留置期間や患者サイズに応じた形状・寸法の異なるチューブを用意 ■ チューブ内の詰まりを抑制するコーティング処理
<p>耳小骨インプラント</p> 	<p>用途：難聴の手術</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 硬化によって振動伝達が出来なくなった耳小骨を置き換えるインプラント 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象となる耳小骨の形状、構造に応じた各種インプラントを用意

1. 事業概要のご紹介

2. 現状認識

3. 市場動向

4. 事業戦略

5. 目標・指標

■ 中期ビジョン（2013年3月期～）期間中の振り返り

戦略	施策の進捗および評価
耳鼻咽喉科事業の グローバル展開 ・イメージングデバイス ・各種治療デバイス	◎ <ul style="list-style-type: none">■ 中・下咽頭がんの早期発見をサポートするNBI機能を武器に、軟性内視鏡ビジネスを拡大■ 4Kカメラシステムを導入、鼻科領域の手術室イメージングビジネスへの本格参入を開始
	○ <ul style="list-style-type: none">■ 吸引管路の詰まり除去機能や、高周波止血機能付きブレードなど、他社にない商品コンセプトを保有する新製品“ディエゴエリート”の市場導入により、ESSビジネスの規模を拡大
	○ <ul style="list-style-type: none">■ 欧米に加え、2015年から日本でも“ディエゴエリート”を導入し、ESSビジネスにおいてもグローバル販売展開を開始■ 欧米では、耳鼻咽喉科専任販売部隊を増員、販売機能を強化

課題

- 4Kカメラシステム、ディエゴエリートを武器としたESSビジネスの拡大
- 軟性内視鏡ビジネスの持続的成長の実現
- グローバル販売体制強化の継続、アジアパシフィック地域への活動拡大

1. 事業概要のご紹介

2. 現状認識

3. 市場動向

4. 事業戦略

5. 目標・指標

市場動向（日米欧）

分野	市場動向 (事業環境)	市場規模 (成長率見通し)	シェア*	競合他社
咽喉科 <u>軟性内視鏡</u>	<ul style="list-style-type: none"> ■ NBIの有効性に対する認知度の向上 ■ 早期診断へのニーズの高まり 	150～170億円 (CAGR:4～5%)	50～ 60%	■ Hoya
鼻科	<u>ESS イメージング</u>	180～200億円 (CAGR:4～5%)	1% 以下	■ Karl Storz
	<u>ESS デブリッター</u>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 副鼻腔炎に対するデブリッターを使用した手術手技は先進国では定着 ■ 米国では、医療費抑制トレンドにより、一部の治療が外来にシフト 	220～240億円 (CAGR:4～5%)	10～ 15%
耳科 <u>鼓膜チューブ インプラント</u>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 疾患、症例推移は微増 	50～70億円 (CAGR:1%以下)	40～ 50%	■ Medtronic

1. 事業概要のご紹介

2. 現状認識

3. 市場動向

4. 事業戦略

5. 目標・指標

咽喉科

1

■ ビデオ化を核とした軟性内視鏡ビジネスの拡大

鼻科

2

■ 内視鏡下副鼻腔手術(ESS) ビジネスの獲得

- ◆ 4Kカメラシステムを核とした副鼻腔手術イメージングビジネスの拡大
- ◆ ディエゴエリートを核とした副鼻腔処置デバイス（ディスポデバイス）ビジネスの拡大
- ◆ 低侵襲治療の外来への展開を見据えた対応

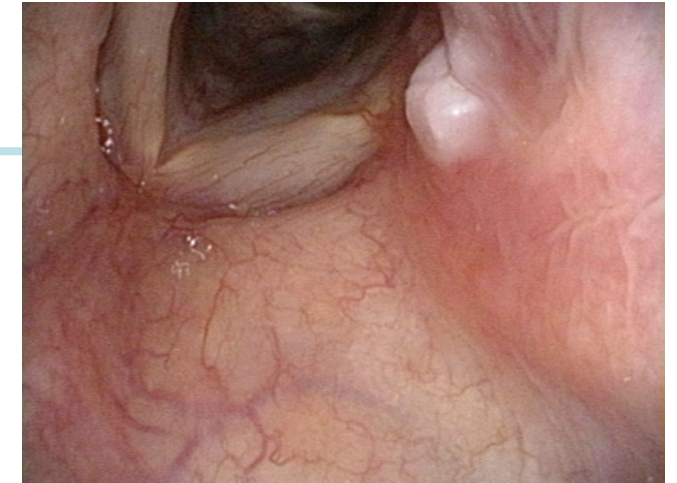
全体

3

■ グローバル販売体制の確立

NBIの有効性訴求による他社差別化

- NBIの医学的有用性のクリニカルエビデンス取得
 - 咽喉頭がん手術時のサージカルマージン確保に関する有用性
 - 咽喉頭がん発見率に関する有用性
- NBI適用に関する保険償還獲得に向けた活動



ファイバースコープからビデオスコープへの移行推進

- NBI技術など、他社差別化できる高付加価値製品群への注力
 - <ビデオ化率>
 - 米国：50%⇒60~70%
 - 欧州：20%⇒50~60%



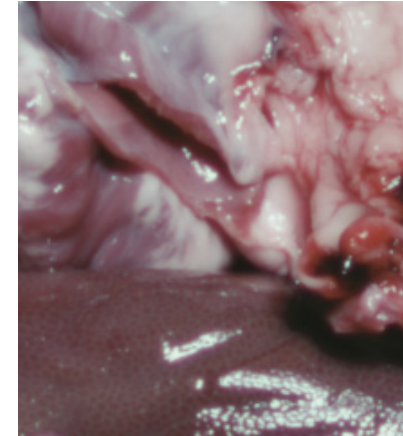
Petr Lukes, M.D., Ph.D.

First Faculty of Medicine, Charles University in Prague and University Hospital Motol

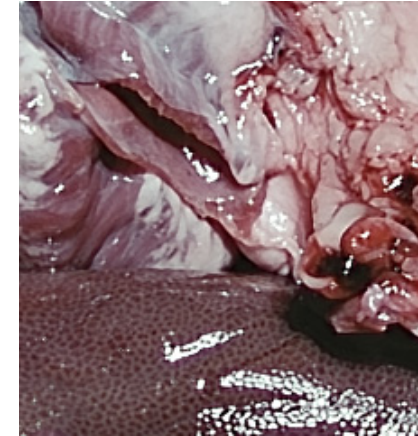
4Kカメラシステムを核としたESSイメージングビジネスの拡大

■ 鼻科領域での手術室イメージングビジネスを4Kカメラシステムにより拡大

- **高精細な画像**
4K画質の提供による病変の視認性の向上による手技の容易化
- **広色域による自然な色再現**
ESSに適した色再現を選択可能



HD



4K

※画像はイメージです

ディエゴエリートを核としたESS処置デバイス(ディスポデバイス)ビジネスの拡大

- 組織詰まり除去、高周波止血といった差別化機能、および4Kの組合せによるSee (4K) & Treat (ディエゴエリート) の両輪でのESSビジネスの拡大
- ブレード新製品の定期的ラインアップ追加によるESSシステムの最適化

DIEGO ELITE



ESSビジネスの日・欧市場への本格展開

- ESS専任体制構築によるセールス力の強化
- 米国市場で培った成功事例の積極的展開

耳鼻咽喉科ビジネスのアジアパシフィック地域への展開強化

- 注力国（中国、オーストラリア、シンガポール等）の設定ならびに専任販売部隊の構築
- 注力国を核とした段階的市場カバレッジの拡大

1. 事業概要のご紹介

2. 現状認識

3. 市場動向

4. 事業戦略

5. 目標・指標

目標・指標

1	売上高CAGR	■ 13%	
2	分野		
	咽喉科 軟性内視鏡	■ 更なる高付加価値の追求による圧倒的No.1シェアの維持	
	鼻科	ESS イメージング	■ ESSイメージングビジネスの立上げ：シェア10%以上
		ESS デブリッター	■ ESS治療ビジネスの拡大：シェア20%以上

OLYMPUS
